



2017. 10.

10月 ちとせだより

幼保連携型認定こども園
神戸YMCAちとせ幼稚園

今年は運動会が雨で延期になりました。延期する日程が翌日ではなく2週間後になったので、例年とは違って西神戸YMCA幼稚園の運動会が先に行われることになりました。

西神戸YMCA幼稚園は園児が300名いますので、来賓から「壮大な運動会ですね」という感想もありました。たしかに保護者を含めると約1,000名が集まりましたので、園児が体験する「場」としては「壮大」な状況だったと思います。

そんな中、プログラム終盤の年長組リレーは大いに盛り上がりました。

抜きつ抜かれつ、走者が替わる度に順位がクルクルと替わって勝負の厳しさがあからさまになります。声援が渦巻く中で気づいたのは、声援が、先頭を走る子、走るのが速い子に対してだけでなく、全員に送られていることでした。走り終わって順位が発表されて、1位になった子たちは勿論大喜びしていますが、2位、3位（3組での対抗）の子たちから悔しさはあまり感じ取れず、「やり遂げた」感が漂っていました。走ったすべての子が、会場の全員から愛され後押しされていた、そんな雰囲気でした。

「順位を競う」ことはリレーの存在意義そのものです。でもこのリレーでは、バトンを繋ぐために「それぞれが全力を出す」ことが大切で、保護者の皆さんは、そのことを本当に理解して声援を送っていると感じました。抜かれても転んでも落胆の声など無く、一層声援が大きくなる、こどもたちにとって本当に素晴らしい体験だったと思います。

「もっとライン近くを走れ」「バトンは走る方向へ体を向けたまま受けろ」頭の隅にあるそんな理屈は、全力でコーナーを廻って行く姿と集中している表情に吹き飛ばされて、ただただ心が動かされました。

年主題 『愛されて育つ』

<年主題聖句>

「あなた方は神に愛されている子供です」

(エフェソの信徒への手紙 5章 1節)

10月主題 『ふれあう』

<聖句> 「アブラムは、主の言葉に従って旅立った」

(創世記 12章 4節)